

くらし
を守る
1アクション

防

犯

「小さな気づき」が被害を防ぐ

「かぞくのきずな」で詐欺を撃退

オレオレ詐欺

高齢者を標的とした特殊詐欺の中でも被害件数が最も多い『オレオレ詐欺』。手口はますます巧妙化し、一人で防ぐことは困難に。緊急時の連絡先を控え、こまめに連絡を取り合うことで家族を詐欺から守りましょう。

① 息子からの電話。でもいつもと声が違う・・・



② 「風邪をひいた」などと息子を装ってきます



「電話番号が変わった」 「風邪をひいた」は詐欺

犯人は高齢者名簿などを元に息子や孫を装って電話をかけ、いつもと声が違うことを不審に思われないよう「風邪をひいた」などと言ってきます。また、「携帯電話をなくした」などと言い、犯人グループの電話へ連絡させようとしています。

ワンポイント

家族で合言葉を決めたり、家族にしかわからない情報を聞き、最初の電話で本人確認を。

3 お金が至急必要であると訴えてきます



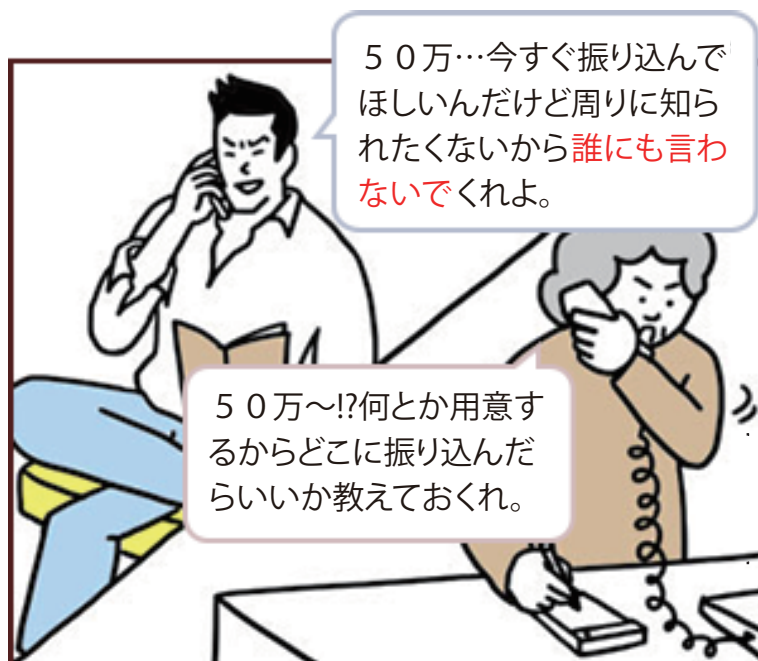
「会社のお金や小切手が入ったカバンをなくした」は詐欺

「小切手をなくした」「会社のお金を使い込んだ」と仕事でのトラブルなどを口実にお金が至急必要であることを訴えてきます。また、別の番号を使って上司を装った犯人からも電話をし、金銭の援助を依頼してくる場合も。

ワンポイント

慌てない、動揺しないことが大切。一度冷静になってから一人で判断せず親戚や警察にまず相談しましょう。

4 誰にも言わないように指示をしてきます



「今すぐお金をおろして」「誰にも言わないで」は詐欺

「JA・銀行等の金融機関で引き出し理由を聞かれたら、上手くごまかして」などと引き出し理由について犯人が指示してくる場合も。また、「誰にも言わないで」と頼み、金融機関（JA・銀行等）の職員が声をかけても被害者が応じないように仕向けるケースも。

ワンポイント

冷静になって金融機関職員の話聞くこと。詐欺を食い止められたケースのほとんどが、金融機関の対応によるものです。

くらし
を守る
1アクション

防
犯

「小さな気づき」が被害を防ぐ

「かぞくのきずな」で詐欺を撃退

還付金詐欺

「携帯電話を持って ATM へ」と言われたら『還付金詐欺』を疑いましょう。
公的年金、医療費、税金、社会保険料などの還付金を ATM で返還することは絶対にありません。
年金支給月の 15 日前後は詐欺が増加傾向にあるので注意。

1 過払い金？ お金が戻ってくる・・・？



2 締め切り間近と焦らせてきます



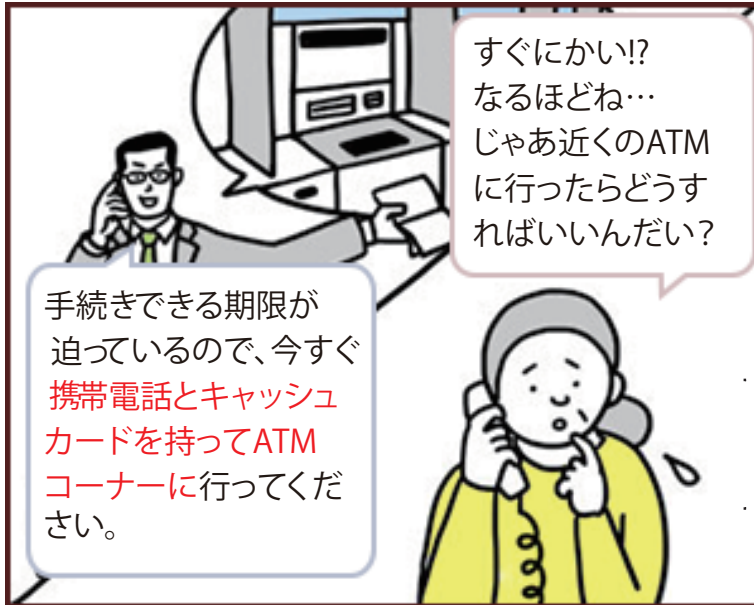
「還付金、医療費、年金の払い戻しがあります」は詐欺

犯人は公的機関（自治体・税務署・年金事務所等）を語り、還付金を支払うという内容の電話をかけてきます。また、手続きの締め切りが迫っていることを強調して被害者を焦せらせ、社会保険事務所の嘘の電話番号を伝えて連絡するように言ってきます。

ワンポイント

相手から言われた電話番号に電話するのではなく、**自分で直接市役所等の番号を調べ、確認**をしましょう。

3 「今すぐATMへ」と誘導してきます



「キャッシュカード、携帯電話を 持ってATMへ」は詐欺

犯人から言われた社会保険事務所の電話番号に電話すると、職員を名乗る者が「還付金を振り込みます。口座を教えてください」などと言い、被害者をATMまで誘導します

ワンポイント

見知らぬ人から電話がかかってきた場合、**「携帯電話は持っていません」と答える**のもひとつの手。この段階でATMへの誘導を阻止できる可能性も。

4 言葉巧みにATMを操作させようとしています



「ATMに着いたら 電話してください」は詐欺

被害者がATMに着いたことを電話すると「こちらで手続きをしますので、説明通りにATMのボタンを押してください」などと言われ、振込み動作と気づかないほど言葉巧みにATMを順番に操作させられます。

ワンポイント

少しでもおかしいと思ったら、その場で判断せず、**一旦電話を切って家族や警察に相談、確認**をしましょう。

くらし
を守る
1アクション

防
犯

「小さな気づき」が被害を防ぐ

「かぞくのきずな」で詐欺を撃退

名義貸し詐欺

老人ホームの入居権、消費者金融、クレジットカードなどの名義を借りる代わりに謝礼を支払うと持ちかけてくる『名義貸し詐欺』。

“名義貸しの行為は違法である”ことを理解し、甘い儲け話に乗らないことを徹底しましょう。

1 名前くらいなら貸してもいいかな・・・？



「名前を貸してほしい」は詐欺

犯人は「あなたには〇〇老人ホームの入居権を購入する権利があります。購入しない場合は、あなたの名前を使わせてほしい」などと言って名義貸しを求めてきます。あらかじめ自宅にカタログなどを送りつけてくるケースもあります。

ワンポイント

おかしい話には応じない、うまい話や儲け話にも乗らないようにしましょう。

2 名義を貸したことで逮捕されると脅してきます

～別の日～



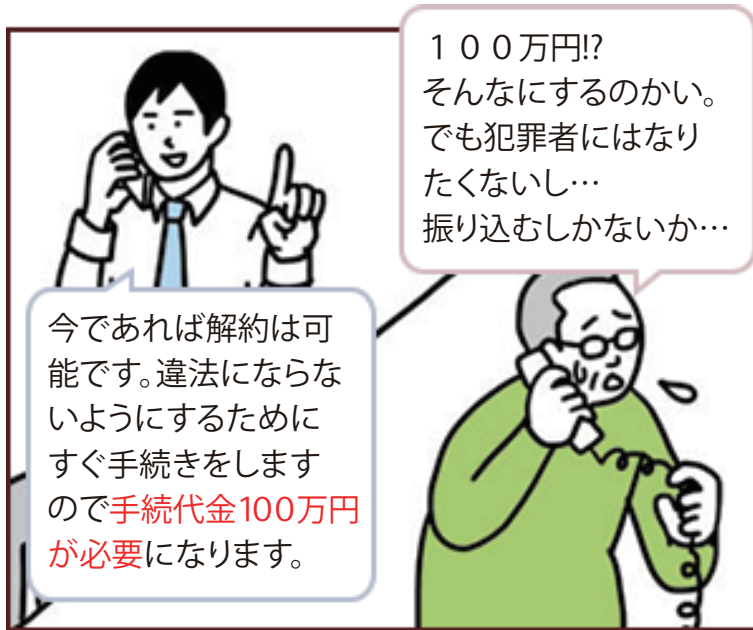
「名義貸しは違法になる」「裁判になる」は詐欺

その後、名義貸しをはっきりと承諾していない場合でも、前とは別の会社の職員を名乗る者から電話があり「名義貸しは犯罪です。金融庁に知られると裁判になり、警察に逮捕されます」などと、被害者の不安をあおる脅し文句を言ってきます。

ワンポイント

「裁判になる」「警察に逮捕される」等の言葉に動揺せず家族や相談機関に相談しましょう。

3 解約するために代金が必要だと言ってきます



「解約の手続代金が必要になる」は詐欺

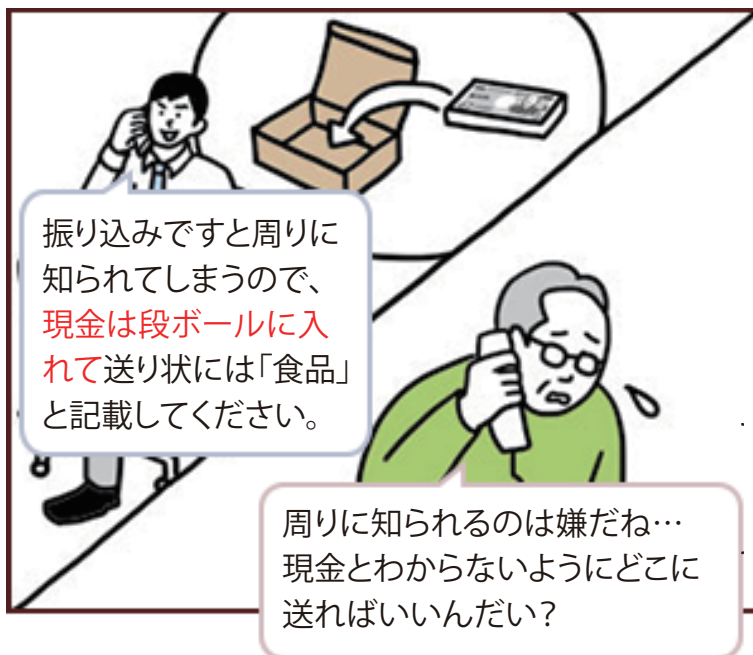
被害者が慌てて初めに連絡をしてきた会社へ電話をすると、弁護士を名乗る者が登場し、「今であれば解約手続ができます。手続代金として〇百万円を送ってください」などと言って現金の送付や振り込みを促します。

ワンポイント

「解約の手続代金」という言葉に動揺せず

家族や相談機関に相談しましょう。

4 ダンボールに入れての宅配を指示してきます



くらし
を守る
1アクション

防

犯

「小さな気づき」が被害を防ぐ

「かぞくのきずな」で詐欺を撃退

その他の詐欺

詐欺グループは手口や対象となる商品を変化させて、ありとあらゆる手法であなたの資産を狙ってきます。詐欺であると気づけるように手口のポイントを押さえ、不審に思ったらすぐに警察へ連絡を。

！ 金融商品等取引名目詐欺



「必ず儲かる」「値上がり確実」は詐欺

株や債券、外国通貨の購入パンフレットなどを送付して嘘の投資話を持ちかけ、「必ず儲かる」「あなたしか買えない」などと言って購入を勧め、これらを買えば高額で買い取ってもらえると信じ込ませ、お金を騙し取ります。

☑ ワンポイント

事業者が金融庁に登録（届出）されているかどうか、警告を受けているかどうかなどを ウェブサイトを確認 しましょう。

！ 架空請求詐欺



「総合情報サイト利用料未納」「訴訟手続を開始します」は詐欺

「総合情報サイト利用料金未納」「無料期間が経過したが退会手続がとられていない」など、ありもしない内容の文書やメールを送りつけ、利用料金などの支払いを求めてきます。最近では若者の被害も増加傾向に。

☑ ワンポイント

聞かれてもこちらの個人情報話を話さない、「払います」等の相手の請求を認める発言をしないことを徹底しましょう。

！ マイナンバー制度、東京五輪に関する不審電話



「マイナンバーを貸して」 「五輪チケットの特別先行販売」は詐欺

マイナンバーや東京五輪といった最新の話題に便乗し、手続名目の金銭や名義貸しを要求する手口、架空の儲け話をする手口が増加。

ワンポイント

「マイナンバーを貸してほしい」「個人情報を削除するために送金が必要」というような電話を受けたら、**「折り返し連絡することにして、相手の連絡先と名前を控え、警察に通報を。」**

くらし
を守る
1アクション

防

犯

「小さな気づき」が被害を防ぐ

「かぞくのきずな」で詐欺を撃退

詐欺の受け渡し手口を知ろう

詐欺グループは手口や対象となる商品を変化させて、ありとあらゆる手法であなたの資産を狙ってきます。詐欺であると気づけるように手口のポイントを押さえ、不審に思ったらすぐに警察へ連絡を。

！ 送付型



「宅配便で現金を送って」は詐欺

「公にできないお金だから」などと理由をつけ、郵送や宅配便での送金を指示してきます。「送り状には『食品』『衣類』などと書くように」と言って別の品物と偽って現金を送付させることも。振り込みのような限度額がないため、被害額が増加傾向に。

ワンポイント

郵送や宅配便などで現金を送ること自体が違法ということを心得ておきましょう。

！ 手交型



「直接取りに行く」「本人は来れなくなった」は詐欺

息子（孫）を装う者から「自分は行けなくなったので同僚が向かう」などと連絡があり、受け取り役が自宅や指定場所に現金を取りにきます。

ワンポイント

どんな理由があっても、知らない人にお金を渡してはいけません。直接息子（孫）の顔を見るまでは詐欺を疑うこと。少しでもおかしいと思ったら、すぐに家族に相談しましょう。

！ 振り込み型



「ATMに着いたら連絡して」は詐欺

「受け取り番号は……」などと言いながらATMの操作を促し、被害者に「振り込んでいる」感覚の無いまま振り込みをさせます。

ワンポイント

JA・銀行等の金融機関では、携帯電話で通話しながらの振り込みなど、振り込め詐欺の疑いがあるときは職員が声をかけてくれることも。JA・銀行等の金融機関を利用する習慣をつけ、顔見知りになっておくことも大切です。

電子マネーの悪用が年々上昇。 若者もターゲットに

コンビニエンスストア等で電子マネーを購入するように指示し、購入した電子マネーに記載された番号を撮影しメール送信させたり、電話で通知させたりする手口が増加傾向に。購入を指示された場合は警察に相談を。

くらし
を守る
1アクション

防
犯

「小さな気づき」が被害を防ぐ

「かぞくのきずな」で詐欺を撃退

家族で未然に防ぐ

被害にあわないための事前対策

詐欺被害を未然に防ぐためには、詐欺グループが嫌う環境づくりも大切。
事前に家族全員で対策をして、詐欺に対する意識を今一度見直す機会としましょう。

電話の設置や設定など 家族間で協力を！



✓ ナンバーディスプレイ機能の活用

ナンバーディスプレイ対応の電話機を設置すると、相手の電話番号が電話に出る前にわかるので、知らない電話番号に警戒できます。

✓ 留守録設定をし、極力電話に出ないようにする

自宅の電話は、家にいるときでも留守番電話に設定を。犯人は自分の声が証拠として残ることを嫌い、何も話さずに切ってしまいます。

✓ 自動録音機を設置

通話録音装置を現在使用している電話機に取り付けて、自動で相手に警告、通話を録音します。無償貸し出しを行う自治体もあるので確認を。

✓ 合言葉を決めておく

不審な電話がきた際に本人確認ができるよう、ペットの名前、記念日など、家族にしかわからない合言葉を決めておきましょう。